

ブリッジ BRIDGE



社会福祉法人 ゆうかり

85

08
2025



● 特集 『「夢」～鹿児島県の医療的ケア児等とともに～』

● ふれあいスポーツ大会 他
〈ゆうかり学園〉

● 笑顔あふれる保育園、親子遠足 他
〈ゆうかり保育園〉

● 梅雨と日中活動、そなた de マルシェ 他
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



社会福祉法人ゆうかり HP

「夢」～鹿児島島の医療的ケア児等とともに～

鹿児島島西ロータリークラブの取り組みのご紹介

鹿児島島西ロータリークラブと当法人は、40年以上のお付き合いがあります。鹿児島島西ロータリークラブの定款細則 第5条の4に「出席規定」という項目があり、13箇所あるうちの1箇所に「ゆうかり学園」も設定されています。先代理事長（水流洋）が、1986年から2016年まで30年在籍し、40周年の記念すべき2002～2003年度には会長職を担ったこともあります。「出席規定」とはボランティア等の参加が、例会の出席と同等と認められる仕組みで、20年前まで実施していた落穂会3施設の運動会には、ローターアクト（ロータリーが所管する学生を中心とした活動グループ）のメンバーがボランティアで参加し、ゆうかり学園の春の運動会には、鹿児島島西ロータリークラブのみなさんにお手伝いに来てもらっていました。また、ゆうかりにちなんで、ユウカリの木記念植樹、またAEDの寄贈を、ゆうかり保育園にいただきました。直近では、「ぶたにく」の写真絵本をMBCの岡田祐介アナウンサーのナレーションで、読み聞かせ動画を作成していただき、投影用のデジタルサイネージをセットで寄贈していただきました。その後、私も入会して5年目を迎え、諸先輩方が60有余年にわたり紡いできたロータリーの取り組みを勉強中です。

4年前からバリアフリー演劇の協力もしてもらっていますが、今回は2021年に施行された医療的ケア児支援法によって、鹿児島県にも開設された医療的ケア児等支援センターを支援していこうという取り組みです。

一昨年から、鹿児島島西ロータリークラブとして取り組んでいる、医療的ケアが必要なお子さん（成人含む）とご家族を支えるための2024～2025年度のプログラムとして、ご本人の将来の夢を冊子にすることで、多くのロータリアン、市民の皆様への啓蒙活動の一助となることを目指して作成しました。

さまざまな状態にある彼らの、学校卒業後の行き場、就職先を確保、創設していくことが喫緊の課題となっています。ご本人たちの想いを社会がどう受け止め、動いていくかが問われていますが、まずは、問題意識を共有し、その想いを実現することからはじめたいという想いで作成いたしました。

〔冊子の構成〕

◇8家族のみなさんから寄せられた「夢」

※ご家族とおでかけ・医ケア対応のグループホーム設置・看護師さんへの感謝・ワンボックスカー（寝台対応）がほしい・ショートステイ先がほしい、、、「夢」を抱くことのむずかしさ、日々のケアの切実さ、、、

◇先進地事業所紹介 埼玉県 社会福祉法人 昴 丹羽理事長

※30年前から医ケア対応のグループホームを開設

◇鹿児島県医療的ケア児等支援センター 前野センター長より

※2事例の紹介、1年半のふりかえり

◇事業者そして母親の立場から NPO法人障害児フォーラム

鹿児島 和田理事長

※鹿児島で医ケア支援を献身的に取り組まれている現状

丹羽理事長の本文より

「人が夢を持ち、それを叶えていくためには、夢を描ける豊かな経験と、それを支える環境が必要です。私たちはこれからも、医療的ケアが必要な方を含むすべての人々が夢を持ち、生き生きと暮らせる地域づくりに向けて、地域社会へ積極的に働きかけてまいります。」

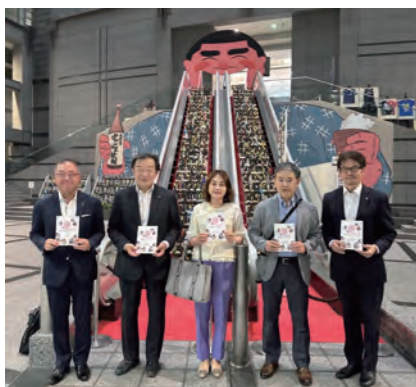
ということばのとおり、鹿児島島西ロータリークラブ、ならびに当法人も継続的に支援していきます。

冊子は、下記URLからダウンロードいただけます。

<http://kagoshima-w-rc.jp/post-970/>



社会福祉法人ゆうかり 理事長 水流源彦



執筆者 有木さん、柿内さん、鹿児島島西RC軸屋幹事、久永会長、塩田知事、田中直前会長、中馬直前幹事、水流理事長（1枚目写真・左から）



ドライブに行きました



あじさいと



琴と歌の演奏を聴きました



手拍子あり踊りあり、楽しい時間♪



スポーツ大会開始、緊張してます...



準備運動しっかりと



つなひき、かまえて...



力いっぱい、ひナー！



全力です



50m走



リレー



バトンをつないで！



玉入れ



ゆうかり応援団♪



みんなでお弁当★



動いた後は格別です

ふれあいスポーツ大会

6月1日、鹿児島国際大学で行われた、ふれあいスポーツ大会に出場させていただきました。競技が始まる前までは、職員も利用者さんも緊張…。しかし、いざ競技が始まると全力で楽しませていました。終わってみると、参加された利用者さんのほとんどが入賞！素晴らしい結果を残されていました。

writer: 玉利 卓巳

コメントをいただきました！

ふれあいスポーツ大会に参加した利用者さんからコメントをいただきました！

50m走と玉入れに出ました。50m走は2番で、楽しかったです。お弁当もおいしかったです。また行きたいです。(Hさん)

100m走と、リレーと、玉転がしに出ました。リレーは1位、玉転がしはUさんと一緒に転がしました。がんばりました。(Iさん)



4月1日 入園式



ご入園おめでとうございます。



5月10日 親子遠足



ミニオンとハイチーズ♪



マリオとルイージもいるよ♪



さくら組さんは最後の親子遠足でした。



平川動物園



暑かったけど楽しかったね



5月20日 芋の苗植え



もも組さんが



芋の苗植えをしました♪



収穫が楽しみです！

笑顔あふれる保育園

春、四月は保育園の新しい一年の始まりです。「どんなお友達がいってくるのかな?」「給食をたくさん食べてくれるかな?」と迎える私達もドキドキのスタートです。生まれて初めて大好きな家族と離れて過ごす保育園での生活。朝の「おはよう」に始まり、一緒に過ごすうちに緊張がほぐれてたくさんの笑顔に日々癒されています。これからもこの笑顔を大切に守っていきたいと思います。

writer:日高 詩子

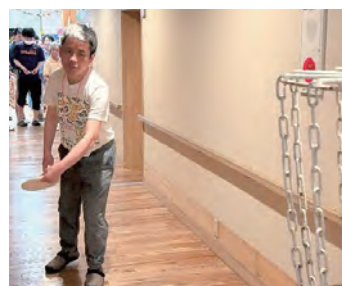
親子遠足

令和七年度、新しい生活がスタートし、毎日暖かい春の風とともに子どもたちの笑い声が響き渡っています。さて、今年度も五月に親子遠足を開催しました。天気にも恵まれ多くのご家族の方に参加して頂きました。動物園をお友達やご家族同士で楽しむ姿や、ミニオンやマリオに扮した職員と写真撮影をしたりなど、楽しい思い出になったことと思います。これからもお父さん、お母さん、職員との交流の場にもなれば幸いです。

writer:村口 るみ子



選手宣誓!!
☆今年一番の大役☆



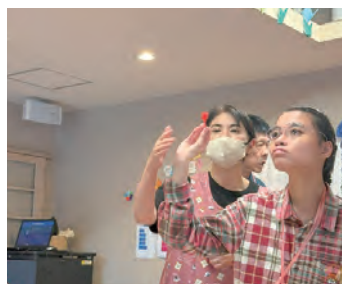
フライングゴルフ
ここで決める☆シ



集中!!一枚一枚丁寧に



フライングゴルフ
ナイス・イン!!(o^ー^o)コ



マグネットダーツ
よく狙って~!!



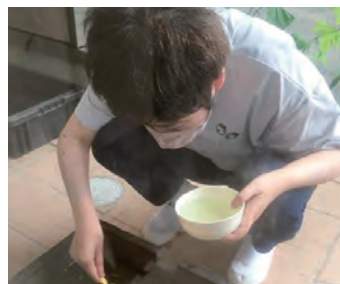
看板完成!!目立ってる?



ミニボウリング
狙うはストライク!!



吹き矢ダーツ
私はスナイパー!!



金魚すくい?めだかだよ?



冷たいコーヒーもおいしい!



6月中旬近所のあじさいが見ごろでした。



『そんたdeマルシェ』会場(雑貨や掘り出し物もたくさん)

梅雨と日中活動

今年はどこよりも早く梅雨入り宣言が出された鹿児島でしたが、梅雨に入ると悩むのが活動内容です。天気が良ければ外に出る機会を設けることも出来ますが、雨が降っているとそれも難しく、毎年梅雨時期は活動内容に困ることがあります。ぱすてるでは梅雨時期の活動に体を動かすものを積極的に取り入れるようにしています。今年も室内運動会を実施しました。今後も季節や状況によって様々な活動を実施して、利用者の皆様と活動を楽しんでいきたいですね。

writer:溝下 壮太郎

そんた de マルシェ

6月22日、地域生活支援拠点ゆうかりで『そんた de マルシェ』を開催し、準備をぱすてるの皆で行いました。利用者さんがかいたイラストや文字を使ってバッジやマグネット、初のTシャツを作りました。ぱすてるが販売しているコーヒーの看板や『そんた de マルシェ』の旗、コーヒーを入れる紙袋にも絵や文字をかき、ご購入いただいたお客様が思わず笑顔になるものに仕上がりました。今後も地域交流として関わる機会を作っていきたいです。

writer:古下 希



研修報告 児童虐待対応研修

こども家庭支援センターの児童虐待対応研修を受講しました。児童虐待とは
①子どもの人権を著しく侵害するもの
②親の意図は関係なく、子どもの視点から捉える。あくまでも子ども自身が苦痛に感じているかどうか。③心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えるもの
④本来、愛情や安心を与えてくれるはずの保護者が「痛み」や「無関心」を向けてくる

こと、を指します。研修ではしつけとの境界線、保護者の心理的・身体的負担（虐待の背景）を深く考えることのできる時間となりました。子どもの安心・安全を第一に考えることも大切ですが、保護者の安心も考え、虐待防止につなげていきたいと思います。

writer: 岩川 いくみ

長寿祝い 喜寿・古希を迎えました。おめでとうございます！



喜寿
K・Sさん S23



喜寿
Y・Nさん S23



喜寿
F・Tさん S23



古希
K・Hさん S30

お悔やみ お悔やみ申し上げます。



S・Aさん (S11生まれ)

昭和54年に入所され、畜産班で活躍された下迫さんは、牛の餌やりや発情の見分け方まで熟知し、新人職員の手本となる存在でした。寡黙で物静かなお人柄でしたが、宴席では活動について楽しそうに語る一面もありました。視力や聴力が低下されても、日付や曜日を確認され、日曜の朝食がパンであることなど、その記憶力は最後まで衰えることがありませんでした。また、妹さんを深く思いやる優しい心の持ち主で、常に妹さんを優先されるお姿は、心に深く刻まれています。心よりご冥福をお祈りいたします。

入職 よろしくおねがいします

- 地域生活支援拠点ゆうかり
相談支援専門員／満窪 希
相談支援専門員／嘉茂 久美子

退職 お世話になりました

- ゆうかり学園
生活支援員／盛 妙子
生活支援員／濱屋 いずみ

「地域と共に生きる福祉」

社会福祉法人 吾子の里 理事長 十島 真理

社会福祉法人 吾子の里 理事長の
十島真理と申します。この度、監事に
就任することになりましたのでご挨拶
申し上げます。

ゆうちゃんのこと

私には、もうすぐ還暦を迎える3つ
年上の兄がいます。兄の「有志」は重度
の知的障害と難治性てんかんを持って
います。令和元年より、自宅近くの
グループホームに住んでいます。

その兄と、毎週日曜日の朝、88歳の母と
三人でドライブに出かけます。最近
では、90歳の父も一緒に行くように
なりました。家族四人でのドライブは、
兄のこだわりか、私のこだわりか、
まったく同じルートを通り、同じ会話を
します。

8時15分出発。まずは、近所のコンビニ
に寄って飲み物を買います。兄は、
ジョージアの缶コーヒーが大好きで、
それとお茶を買います。レジに行くと、
兄は丁寧に頭を下げます。コンビニの
店員さんたちも、5年間毎週通って
いますから、「ゆうちゃん」「今日も
ありがとう」と笑顔で対応して
くださいます。

それから、高速道路を走るのが好き
な兄の気持ちを慮って九州自動車道を

上り、桜島サービスエリアでグループ
ホームのお友達にお土産を買いま
す。日曜日の常連ですから、さつま
揚げの店員さん、両棒餅屋さん、レジの
店員さんたちが、「今日も元気ね」
「また待ってるからね」と声をかけて
くださいます。帰りの車中では、
お母ちゃんの大好きな美空ひばりの
大合唱です。兄も手を振ってノリノリです。

兄と地域のみなさん

地域福祉は、自分の生活圏域で、
どれだけ人と暖かい、思いやりのある
マインドフルなネットワークを築ける
か、どんな環境資源をどう使えるかが
重要かつ豊かな生活のポイントとされて
います。有難いことに、兄「ゆうちゃん」
の周りには、事業所「きずな」の関係者
はもとより、街を歩いていると
「ゆうちゃん」「お兄ちゃん」と声を
かけてくださる地域の方々がたくさん
いらっしゃいます。兄は、ことばは
話せず、にこっと笑って、頭を下げる
だけなのですが、たくさんの方に
見守られて、幸せに暮らしています。

障害福祉の目指す頂き

私の両親は、兄が生きるために、
ドクターショッピングに始まり、早期

療育の必要性、教育の機会均等、働く
場の開拓、安心して住める場所の確保、
親亡きあと等を世間に懸命に訴え、
運動を続けてまいりました。この60年
の間に、社会は大きく変わり、障害が
あってもなくても暮らしやすい町が
整備されてきたと実感しています。
それでも、新しい課題は次から次へと
生まれているようですが…。

水流源彦先生とは、もう若いころ
から日本の障害福祉をより良くする
ため、ともに切磋琢磨して頑張ってきた
仲間です。体験・考え方の違いから、
言いたいことを言い合いながらも、
「登り口やルートは違っても、目指す
頂は同じ」と、お互い自分のできること
を精一杯やってきました。この度、
縁あって社会福祉法人ゆうかりの監事
をさせていただくことになりました。
水流先生や法人の皆様のこれまでの
努力を見てきて、心から尊敬の念を
抱いております。これから、仲間の端に
加えていただき、さらに勉強を深め
させていただきたいと思っています。
どうぞよろしくお願い申し上げます。



プロフィール

社会福祉法人ゆうかり 監事
社会福祉法人 吾子の里
理事長 十島 真理
好きなこと：Smart News・四コマ漫画
嫌いなこと：運動・歩く
趣味 : きゅうりと大葉を育てる
家族 : 犬1頭・猫2匹

台風の時節がやってきました。

「自然災害への備えはできていますか？」

この問いにギクッとしたそのあなた。

私と同じです……。いつも台風直前になって
慌ててしまいます。このままではいけないと思い、
まずは夏の停電対策として、冷えピタと冷やし
タオルをまとめ買いしました。一歩前進です！

（でもその前に熱中症対策で使ってしまう
ように気を付けなければ・・）自分自身と家族の
安全を守る為、皆さんも一緒に対策していきましょう！

writer: 甲斐 静華

= Event =

🏠 ご家族も参加いただけます 🌳 地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
8月	9～18日 夏季休暇 誕生者外出	6日 避難訓練 8日 食育・クッキング 23日 一年生同窓会	誕生会 土曜開所2回 納涼祭 夏祭り
9月	いつまでも元気会 誕生者外出	3日 避難訓練 5日 食育・クッキング 20日 親子レクリエーション	誕生会 土曜開所2回 十五夜 月見
10月	十五夜 誕生者外出	3日 秋の遠足 8日 避難訓練 9日 食育・クッキング 22日 内科検診	誕生会 土曜開所2回 スポーツ大会 ハロウィン コスモス見学

発行責任者 理事長 水流 源彦
ブリッジ編集委員会 川田 晃一・松元 詞子（ゆうかり学園） 甲斐 静華（ゆうかり保育園）
溝下 壮太郎・古下 希（地域生活支援拠点ゆうかり）

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

